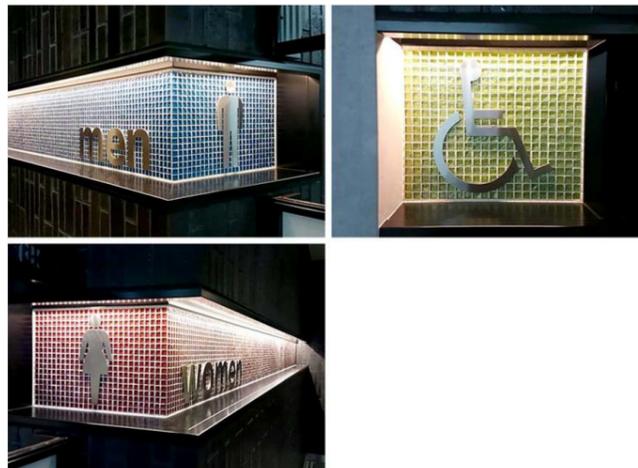


トイレ入口



社の都仙台の「けやき並木」のモチーフで仙台らしさを演出。男女トイレと多機能トイレ、ベビー休憩室をわかりやすく案内している。

トイレサイン



スタイリッシュなトイレサイン。

女性トイレ パウダーコーナー



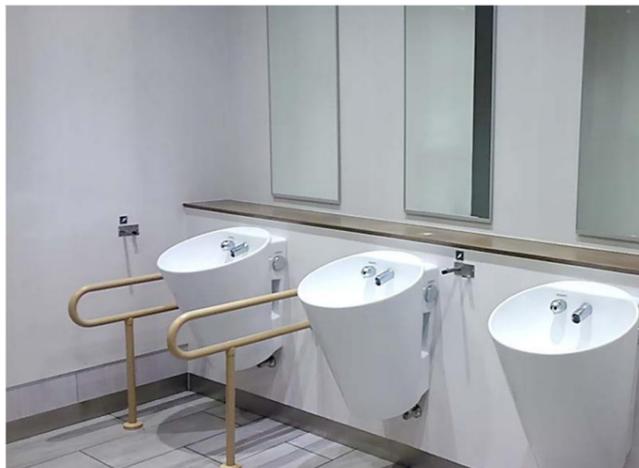
落ち着いて使うことができるよう、独立したパウダーコーナーを設置。LED照明と一体になった鏡は、顔に影ができにくく、お化粧しやすい。近くには、腰掛けたり、荷物を置くことができる台を設置している。

多機能トイレ



車いす使用者やお子様連れ、オストメイトなどさまざまな使用者に対応できる設備を完備。また、大人も使用できるパブリック用折りたたみシートとベビーチェアを設置している。

男性トイレ 洗面器コーナー



白を基調とした明るく清潔感のある空間。洗面器は、水はねに配慮した形状の壁掛自動洗面器を選定。

男性トイレ 小便器コーナー



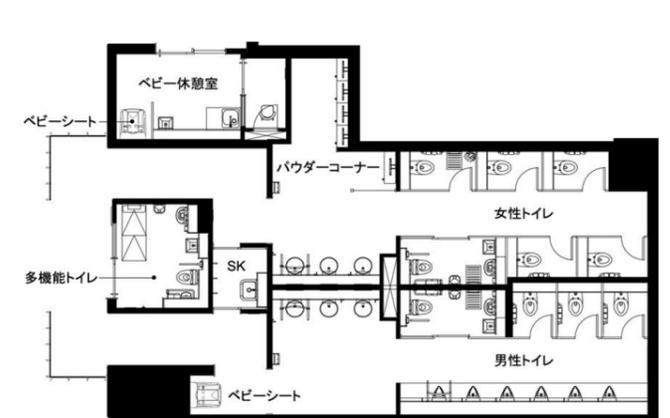
シンプルデザインと節水性能を両立する、壁掛自動洗浄小便器を採用。お子様を連れた男性の利用者が、ベビー休憩室以外でもおむつ交換ができるように、入口側にベビーシートを設置している。

ベビー休憩室



乳幼児を連れた方に配慮し、ベビー休憩室を設置。おむつ替えスペースのほか、調乳用のシンク、手洗器を設置。鍵がかかる個室の授乳室も完備している。

トイレ図面



さまざまな利用者に配慮し、トイレ空間全体に機能を分散させている。

男性トイレ 大便器ブース



床まわりの清掃性に優れた壁掛式大便器に、パブリック向けウォシュレットを設置。外国人旅行者に配慮し、5ヶ国語の使い方シートを貼っている。

女性トイレ 簡易多機能ブース



多機能トイレの混雑の緩和を図るため、オストメイトや、子ども連れ配慮の機能を男女トイレに分散させた。オストメイト対応トイレパックのほか、ベビーチェアやフィッティングボード、小型手洗器を設置している。

建築概要

名称	東北新幹線 仙台駅中央改札内
所在地	宮城県仙台市青葉区中央1丁目一番地
施主	東日本旅客鉄道株式会社 仙台建築技術センター
設計	株式会社ジェイアール東日本 建築設計事務所
建築施工	仙建工業株式会社
竣工年月	(改修)2017年3月

水まわりの特長

<改修の経緯>
東北地方最大の都市、仙台市にあるJR仙台駅は東北最大の拠点駅で、8.5万人/日(2015年度)の乗客があり、市内各地に行くことができる在来線など多くの電車が停車する。東北新幹線中央改札内には、お土産売り場や待合所があるため、利用頻度が高く、前回の改修から10年が経過した2016年に全面改修が行なわれることになった。

<トイレの特長>
正面入口は、社の都仙台の「けやき並木」のモチーフで仙台らしさを演出。インテリアは、清潔感と高級感を意識したモノトーンでコーディネート。多機能トイレの混雑緩和をはかるため、男女トイレ内に簡易多機能ブースや子ども配慮を充実させ、機能の分散をはかった。改修前には1ヶ所だけ和式便器を残していたが、時流に合わせてすべて洋式化し、すべてのブースにウォシュレットを設置。外国人観光客に配慮して、5ヶ国語の使い方シートを貼っている。小便器は、シンプルですっきりしたデザインの壁掛けタイプを選定することで、床の清掃性にも配慮している。女性トイレのパウダーコーナーは、落ち着いて使うことができるよう、洗面コーナーと分けて設置した。